

うち保育園なかの大和「夏祭り」

“日本の伝統行事の雰囲気、園児たちに楽しんでもらう”という園の保育方針のもと、8月13日(金)に「夏祭り」が行われました。全員が浴衣や甚平に着替えて、最初は「スイカ割り」。園児たちが一生懸命スイカを叩いても、なかなか割れません。先生に替わってやっと割れたスイカで、みんなが待っていたおやつタイムです。

次に、紙で作ったタコ焼きを売る「屋台遊び」と、おもちゃの金魚を使った「金魚すくい」が用意され、二組に分かれた園児たちは交代で挑戦しました。0～3歳の園児全員が楽しめて、ニコニコ顔のあふれる「夏祭り」でした。



コラム「私の楽しみ」⑦ Porkyさん (大和町在住)

植物と戯れ、自然に浸る。

大和町に引っ越してきて13年近くになります。ここは、歩いて行ける距離に公園が多く、少し足をのばせばいくつもの都立公園や神宮の杜にも行けるので、天気の良い休日には夫婦で散歩を楽しんでいます。

ウォーキングしながらの植物観察が楽しみの一つ。それをさらに面白くしてくれるのが、スマホアプリ。よく見かけけど名前までは知らない草花、足元のコケ類、そして初めて見るナニコレ?植物。これを写真に撮るだけで、名前・学名・科目・原産地までも教えてくれる優れもの。そして、帰ってからは歩数計も必ずチェック。

先日、哲学堂公園で不思議な形の種?を見つけたので、拾ってきて、あえて調べずにプランターの土へ。さて、どんな芽が出て何に成長するのか。そもそも、種だったのか?発芽を心待ちに観察するのが、今冬の楽しみのタネです。



♡私のおすすめスポット♡

国立科学博物館附属自然教育園、白金台。都内であることを忘れてしまうほどの、静かな時間と豊かな自然を満喫できます。



*皆さんの「楽しみ」原稿をお待ちしています。応募ご希望の方は、事務局へご連絡ください。

当センターのホームページに「大和町の防災」コーナーを新設しました。

大和地域には「洪水予報河川」の妙正寺川が流れ、都内でも高リスク地域にランクされています。「大和町の防災」コーナーでは、お住いの地域の防災部・防災会の活動や、避難場所についてお知らせしています。万一の場合の備えにお役立てください。

*ホームページ上にある、このバナーをクリックしてください。

大和町の防災

大和西児童館「手づくり工房」

8月4日(水)手づくり工房「ダーラナホースのミニリース」の行事を、地域の高倉さんに教えていただき行いました。スウェーデンの幸せを呼ぶ馬「ダーラナホース」を自分の好きな色に色付けし、マーカーでオリジナルの模様を描きます。初めてのアクリル絵の具の調合や、好きなキャラクターや国旗など、繊細な模様を描く子供たちの姿は真剣そのものでした。ミニリースに、葉や花・木の実の装飾をし、最後にダーラナホースを飾り完成!世界に一つだけの作品が出来上がりました。教えてくださった高倉さん、ありがとうございました。ミニリースの作品は、地区まつりの作品展で、フォト展示を予定しています。ぜひご覧ください。(藤村)



田中ナースリー大和保育園「年長特別プログラム」 「ワイワイたのしく友だちになろう!」

毎年、年長さんが参加している特別プログラムが今年も8月6日(金)に開催されました。今回は姉妹園の田中ナースリー若宮保育園の年長さんと一緒に行う予定でしたが、緊急事態宣言のため別々に行うことになりました。タイトルのスローガンや、当日何をやりたいかといった案を出すのも「ぞうぐみ会議」をして、子供たちが中心になって計画準備を進めてきました。みんなでお揃いの染めTシャツを作ったり、家づくりではグループごとにどんな家にするか絵を描いたりして、活動してきました。

17:00頃には、ぞう組みんなが段ボールで作った、7つの家が園庭に引き出され、その家の周りに座って、待ちに待ったカレーの食事タイムです。午前中には、野菜を切ってカレー作りのお手伝いもしたそうです。全員がお代わりをし、すぐにカレーは売り切れになってしまいました。部屋に戻ってペンダント作りを進める中、二人ずつペアになって、ランタンを持ちながら屋上へ宝探しにも挑戦しました。オバケやオニがいるかも・・・と聞いて、最初は怖がる園児もいましたが、戻ってきた時は「楽しかった」とニコニコ顔でした。

19:00が近づき、フィナーレの「花火」が始まりました。先生たちが花火の説明をしながら次々に点火していくと、園児たちから大きな歓声上がり、最後は全員の拍手で「年長特別プログラム」は幕を閉じました。お迎えに来た保護者と一緒に帰る園児たちの顔は、充実感で輝いていました。



田中ナースリー大和保育園「やまと夏まつり」

7月15日(木)本来なら地域の方々も参加する、園にとって歴史のある「やまと夏まつり」ですが、コロナ禍のために園児だけで行う午前と、保護者も参加する午後に分けて開催されました。

《午前の部/おまつりごっこ》ぞう組(5歳児)のみんなが考えた「てづくりおみせ」には、焼きそば屋・かき氷屋・アクセサリー屋がお店を出し、地下ホールにはマト当てと魚釣りが用意されました。お店の商品もゲームもぞう組の手作りで、売るのもぞう組さんたちでした。4歳以下の園児たちが交代でお店に来て、もらった手作り商品を、嬉しそうに抱えていました。部屋を出るときには、ぞう組さんたちに向かって「ありがとうございました!」と、声をそろえてお礼を言う微笑ましい光景が見られ、異年齢交流を楽しんでいました。

《午後の部/やまと太鼓・盆踊り》保護者も集まった16:00には、伝統の「大和太鼓」で幕を開け、それぞれの太鼓の前には、はっぴを着たぞう組が並びました。先生たちの吹く「しの笛」の音と、「しめ太鼓」のリズムに合わせて、順番に交代で太鼓をたたき、保護者の方々から大きな拍手をもらいました。続いては、浴衣や甚平に着替えた幼児クラス(3歳～5歳)の盆踊りが始まりました。先生が叩く太鼓を真ん中に、クラス毎に輪になって踊り、2階のテラスからは0歳～2歳の乳児が保護者さんと一緒に、手拍子で応援していました。コロナ禍に負けず、無事に「やまと夏まつり」の歴史を守った園児たちの笑顔は輝いていました。



にじいろ保育園中野野方「夏まつり」

7月16日(金)幼児クラス(3歳～5歳)の「盆踊り」で「夏まつり」の幕が開きました。全員がはっぴ姿で、一生懸命踊る子や照れて踊らない子など、微笑ましい「盆踊り」を見せてくれました。続いて、縁日を再現したお店屋さん、ゲームコーナーが用意されました。お店は園児たちの手作りの、たこ焼き屋・かき氷屋・イカ焼き屋が並びました。「園児たちの作りたい気持ちを、大切にしました」と先生が話してくれました。ゲームコーナーには、マト当て・ワニ叩き・ヨーヨー釣り・金魚すくいが用意され、園児たちは、お店屋さんで買い物をしたり、ゲームに熱中したりの楽しい時間を過ごしました。フィナーレは、場所を屋上に移して幼児クラスの「おみこし」です。これも3クラスそれぞれの手作りです。「ワッショイ、ワッショイ」の元気な掛け声が梅雨明けの空に響き、園児たちの顔には、ガンバリ汗が光っていました。みんな頑張ったね!



ご報告します。

コロナ禍の東京オリ・パラは終わりましたね。緊急事態宣言が延長されても、大和町の元気な子供たちの活躍は、嬉しいですね!

やはた幼稚園「サマーバレーコンサート」

やはた幼稚園では、毎年七夕の時期に、園児とご家族を対象に「サマーコンサート」を開催し、古今東西の楽器やダンスなどのプロの方に演奏・パフォーマンスをしていただいています。今年は、7月7日(水)に元東京バレエ団の永田雄大さんをお招きしました。「寝る」「お腹が減った」などのバレエでの仕草を覚えてもらったあと、職員を交えての「赤ずきんちゃん」のプチバレエでは大きな拍手が起こりました。そのあと子供たちや保護者も交えて、ピアノの生演奏に合わせて美しくポージング。手足をピンと伸ばし背筋も伸ばすため、身長が高くなった気がします、との感想も。今後も本物に触れてもらう機会をたくさん設けたいと思います。(龍太郎先生)



田中ナースリー大和保育園「七夕まつり会」

7月7日(水)天の川が見られないお天気でしたが、園内ではぞう組(年長)、きりん組(年中)の園児たちと合同で「七夕まつり会」をしました。ピアノ伴奏に合わせて元気に「七夕の歌」を歌い、歌声が天まで届くようです。「七夕のお話」の絵本では、みんなが知っている『おりひめとひこぼし』のお話を、真剣に聞いていました。園長先生のお話で、七夕の歌に出てくる「五色の短冊」について、子供たちと一緒に考えてみました。ちなみに色の意味は、白は平和、赤(ピンク)は家族、黄色は友情、青は優しさ、黒(紫)は仕事・勉強、だそうです。「家族みんな、仲良く元気で暮らせよう」との願い事は、赤(ピンク)の短冊に書くと良いそうです。

毎年、園庭の笹を切り出してつくる笹飾り。子供たちと保護者の方々の短冊には、たくさんの願い事が書かれていました。友だちの願い事を知ったり、自分のお願い事を聞いてもらったり...中には保護者の方が思わず笑ってしまいそうなお願い事も...みんなで嬉しそうに楽しむ姿が見られました。小雨が止み、お日様が出てきた園庭で、園児たちは短冊が飾られた笹の前で、笑顔の写真を撮りました。みんなの願いが叶いますように!



新形コロナウイルス感染終息のメドが立たないため、
今年の「<第46回>大和地区まつり」も中止にさせていただきます。

残念です!

